愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	石渡 靖之	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

スポーツ競技におけるデータの分析と活用について基礎的な知識技能を学ぶ。スポーツ競技のうちから自分の研究したいスポーツとその具体的な内容を選び、データに着目しながら当該スポーツに関する研究を行う。また、自分の研究したいスポーツについて初心者の小学生が始める前提で、基礎的な動きに関するレッスン動画を作成し、プレゼン発表を行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	基本は対面授業を実施する。加えて授業内容に応じて演習形式の授業も取り入れ、個人での研究とグループワーク（共同作業等）も実施する。また、自分で研究し作成した資料については、プレゼン発表を行う時間を設ける。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション（１）	受講に関する諸注意 授業の進め方について 学生自身の研究テーマについて	□
第2回	スポーツ競技とデータについて	スポーツ競技におけるデータの収集、分析、整理、加工、提示等一連の流れについての説明（サッカーを例として）	□
第3回	調査研究（１）	学生自身が選んだスポーツ競技とデータの利活用について調査研究を行う。進捗内容について逐次確認を行う。	□
第4回	調査研究（２）	学生自身が選んだスポーツ競技とデータの利活用について調査研究を行う。進捗内容について逐次確認を行う。	□
第5回	研究内容のとりまとめ（１）	前時までに調査研究した内容について、発表を行うための資料作成を行う。進捗内容について逐次確認を行う。	□
第6回	研究内容のとりまとめ（２）	発表を行うための資料作成と読み原稿等の作成 進捗内容について逐次確認を行う。	□
第7回	スポーツ競技とデータについてのプレゼン発表（１）	学生自身が調査研究したスポーツ競技とデータの利活用についてプレゼン発表を行う。	□
第8回	スポーツ競技とデータについてのプレゼン発表（２）	学生自身が調査研究したスポーツ競技とデータの利活用についてプレゼン発表を行う。	□
第9回	オリエンテーション（２）	後半期の授業についての進め方 学生自身が選んだスポーツにおける基礎基本の確認	□
第10回	動画撮影の準備	学生自身が選んだスポーツにおける基礎基本動作のうち、レッスン動画にまとめるシナリオ等の作成	□
第11回	動画撮影（１）	学生が自身が選んだスポーツにおける基礎的な動きに関するレッスン動画を体育館等を使って撮影する。なお、撮影作業はグループワークで行う。	□
第12回	動画撮影（２）	学生が自身が選んだスポーツにおける基礎的な動きに関するレッスン動画を体育館等を使って撮影する。なお、撮影作業はグループワークで行う。	□
第13回	動画編集	撮影した動画の編集作業を行い、レッスン動画を完成させる。	□
第14回	プレゼン発表会（１）	作成した動画のプレゼン発表を行う。	□
第15回	プレゼン発表会（２） 学習のまとめ	作成した動画のプレゼン発表を行う。 前期に学習した内容についてレポート作成を行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、教員から示す資料及び学生が選択したスポーツ競技に関する文献等を事前に調査すること。（毎週２時間） 事後学習としては、学生自らが選択したスポーツ競技の分野またはテーマに沿って自身の研究を深め、課題をまとめレポート及び動画の作成を行う。（毎授業後最低２時間は要する。）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎授業の進捗を確認するとともに、授業メモを毎時間終了後に提出してもらい、研究の進捗ならびに課題のフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	自身の選んだスポーツ競技について幅広い知識を習得しながら、当該スポーツ競技における技術を習得するための深い専門性を身につけて、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	専門的知識と自らの経験を基に、創造的に思考し、自ら設定したテーマ及び課題に対して必要かつ的確に判断して著作し、表現できる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	主体的に考え、判断し学生自身で計画を立案しながら、他者と協働して設定したテーマや課題を解決し、著作物を作成することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

学生が作成した発表資料、制作した動画及びシナリオ等の著作物（５０％）
２回のプレゼン発表（２０点）
毎授業で提出する授業メモ及び最終授業で提出を課すレポート（３０％）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	杉崎　健『サッカーアナリストのすゝめ』（株式会社ソルメディア）	978-4-905349-55-6
2		
3		
4		
5		